



2016年度環境活動レポート

(2016.10~2017.9)



木工家具のトータルプランナー
株式会社 箭木木工所

作成日：2017/12/29 改訂日：2018/2/26

●ごあいさつ

国民の間でも環境に対する意識が高まりつつある昨今、企業に求められる役割も年々増してきております。そのような中、生産現場を持つ当社では数年前から環境負荷を軽減する活動に取り組んで参りました。木材を使用する立場として違法伐採材の排除、廃棄物の軽減化、有機溶剤の大気中への飛散防止等、挙げていけば多くのことがあります。より明確な目標を持ち環境問題を意識することによって、取り組みレベルを向上していけるよう努めております。既存の物事にとらわれず、何事に対しても積極的かつ迅速に対応できる姿勢で、環境問題においてもE A 2 1に取り組むことによって社会に貢献して参ります。

株式会社 箭木木工所
代表取締役 箭木 剛之

●登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 箭木木工所
代表取締役：箭木 剛之

(2) 所在地

大阪府大東市三箇6丁目3-7
※認証登録の対象組織＝同上

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者：箭木 剛之
連絡先：TEL 072-872-4061 FAX 072-872-4062

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

別注家具及び店舗什器、建具、木製品の製造

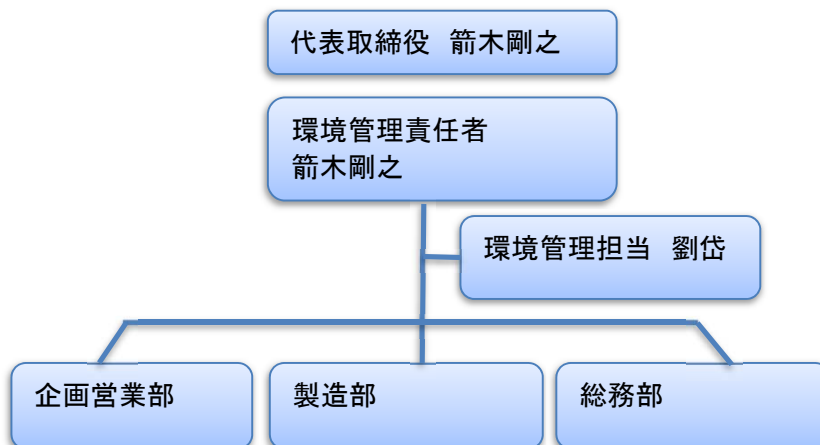
(5) 事業の規模

	本社
従業員	8名
延べ床面積	957㎡
売上高(百万円)	125

(6) 事業年度 10月～9月

(7) 組織図

右図参照



環境方針

<環境理念>

我々は、益々深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、「人・家具・環境」の調和を心掛け、環境負荷の低減を図り、持続可能(サステナブル)な社会を実現すべく、社員一丸となって自主的かつ積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
 - ・電気・化石燃料の使用量削減に取り組みます。
 - ・無駄のない配達・営業ルートを選び、エコドライブに努めます。
- ②廃棄物の削減及び再資源化の推進
 - ・木屑やゴミの減量化・ゴミ分別の徹底・リサイクル推進に努めます。
- ③排水量の削減
 - ・節水に努めます。
- ④環境保全への積極的参加
 - ・自然環境の保全・緑化活動へ自主的かつ積極的に参加します。
- ⑤工場内美化運動の推進
 - ・5Sの徹底により、工場内の無駄な資材やエネルギーロス等の防止に努めます。
- ⑥グリーン購入
 - ・環境に配慮した製品・サービスを積極的に購入します。
- ⑦製品における環境配慮
 - ・資源の有効活用と、環境に配慮した製品づくりに取り組みます。
- ⑧化学物質の適正管理
 - ・定められた使用・保管を適切に管理します。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 全従業員へ朝礼や会議の実施により環境方針の周知徹底をはかり、社外にも環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年9月30日

改定日：2012年9月30日

株式会社 箭木木工所

代表取締役 箭木 剛之

●環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（木屑）
自動車NOx・PM法大阪府流入車規制	トラック（日産アトラス）
騒音・振動規制法（大阪府条例）	帯のこ盤・丸のこ盤・かんな盤・集塵機（容量関係なし）

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。関係当局から違反の指摘も、過去3年間有りません。

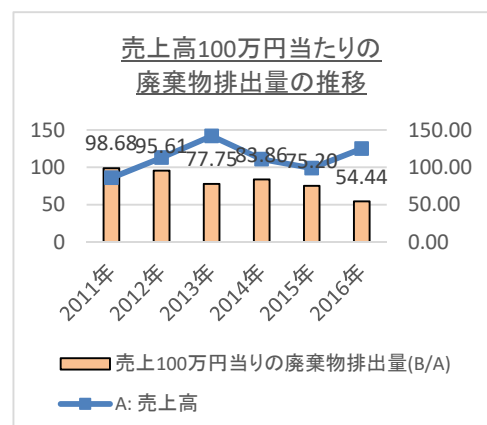
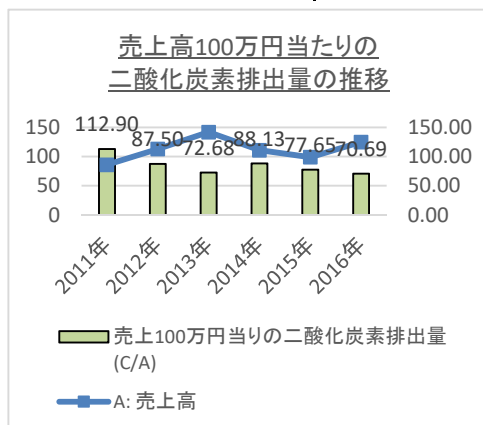
●主な環境負荷の実績

※電力の排出係数：0.45kg-CO₂/kwh（平成23年度関西電力）

項目	単位	2011年 (基準年度)	2013年	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO ₂ /年	10,858	11,342	9,782	7,687	8,836
産業廃棄物排出量	kg/年	8,165	10,539	8,990	7,012	6,425
一般廃棄物排出量	kg/年	322	502	319	433	380
廃棄物排出量（総量）	kg/年	8,487	11,041	9,309	7,444	6,805
総排水量	m ³ /年	59	81	86	83	88

●環境目標及び実績（基準年度は2011年）

項目	年度	実績		目標 (基準年度比)		
		2011年	2016年	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素排出量（電力）の削減 (売上高100万円当り)	kg-CO ₂ /百万円	83.83	46.00	50.30	48.62	48.62
	基準年度比	100.0%	54.9%	60.0%	58.0%	58.0%
二酸化炭素排出量（自動車燃料）の削減 (売上高100万円当り)	kg-CO ₂ /百万円	41.86	23.90	25.12	25.12	25.12
	基準年度比	100.0%	57.1%	60.0%	60.0%	60.0%
産業廃棄物（木屑）排出量の削減 (売上高100万円当り)	kg/百万円	95.36	51.15	52.45	52.45	52.45
	基準年度比	100.0%	53.6%	55.0%	55.0%	55.0%
一般廃棄物排出量の削減 (売上高100万円当り)	kg/百万円	3.76	3.03	3.01	3.01	3.01
	基準年度比	100.0%	80.6%	80.0%	80.0%	80.0%
水使用量の削減 (使用人数当り)	使用量/使用人数	0.82	0.79	0.78	0.78	0.78
	基準年度比	100.0%	96.3%	95.0%	95.0%	95.0%
環境保全活動	延べ参加人数	4	8	8	8	8
	基準年度比	100%	200%	200%	200%	200%
5S運動 (朝礼及び関係会議の実施)	回	45	98	80	80	80
	基準年度比	100%	218%	178%	178%	178%
グリーン購入	品目	2	5	5	5	5
	基準年度比	100%	250%	250%	250%	250%
環境配慮製品に係る会議の実施	回	45	48	45	45	45
	基準年度比	100%	107%	100%	100%	100%
化学物質使用量の把握	回	6	6	6	6	6
	基準年度比	100%	100%	100%	100%	100%



●環境活動の取り組み計画と実績評価

2016年度の活動計画内容と環境への取り組み結果の評価について

取り組み計画	達成状況	単位	評価（結果と今後の方向）
電力の削減 ・不要照明の消灯 ・冷房28℃、暖房20℃ ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・生産設備の空転防止 ・圧縮空気の漏れ防止	基準年度	83.83	目標達成◎ 基準年度より電気の使用量が大幅減少した。 今後も削減努力を行う。
	目標	54.49	
	実績	46.00	
	対目標値増減率	-16%	
自動車燃料の削減 ・エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷暖房の控え目使用 ・配達ルートを考える	基準年度	41.86	目標達成◎ 大変良くできた結果。 現状維持。
	目標	34.33	
	実績	23.90	
	対目標値増減率	-30%	
産業廃棄物（木屑）の削減 ・工程ロスの削減 ・無垢材端材の分別利用	基準年度	95.36	目標達成◎ 大変よくできました。 端材を最大限利用する。
	目標	81.10	
	実績	51.15	
	対目標値増減率	-37%	
一般廃棄物の削減 ・コピーミスの防止 ・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化 ・無駄な印刷物の削減	基準年度	3.76	目標達成◎ よく減量できた。 今後も努力を続ける。
	目標	3.51	
	実績	3.03	
	対目標値増減率	-14%	
節水 ・節水の呼びかけ ・手洗い水量の適正化	基準年度	0.82	目標達成○ 原単位を見直した。 今後も削減努力を行う。
	目標	0.82	
	実績	0.79	
	対目標値増減率	-4%	
環境保全活動 ・環境保全活動への参加 ・環境問題への勉強会を実施	基準年度	4人	目標達成◎ 社員がほとんど参加が出来た。 年に2回活動できるように。
	目標	6 (延べ参加人数)	
	実績	8	
	対目標値増減率	33%	
5S運動 ・朝礼や会議での呼びかけ ・日々改善	基準年度	45回	目標達成◎ 夏期間毎日朝礼行っていた。 今後も努力を続ける。
	目標	50	
	実績	98	
	対目標値増減率	96%	
グリーン購入 ・購入リストの作成 ・設備機器、車等更新時のエコ商品購入	基準年度	2品目	目標達成○ 積極的に購入する。 今後も努力を続ける。
	目標	5	
	実績	5	
	対目標値増減率	0%	
環境配慮製品 ・端材を活用した製品の製作 ・シックハウス対策製品、大阪府産材 ・エコ商品開発（竹材）	基準年度	45回	目標達成○ 社内以外の協力も得て、今年度は会議を重ねることが多かった。 今後も努力を続ける。
	目標	45 (環境配慮製品に係る会議の実施回数)	
	実績	48	
	対目標値増減率	7%	
化学物質の適正管理 ・SDSに沿って適正管理する	基準年度	6回	目標達成○ 2ヶ月に1回確認する。 定期的にチェックする。
	目標	6	
	実績	6	
	対目標値増減率	0%	

大幅目標達成◎=目標値より10%以上の実績達成、目標達成○=目標値より10%未満の実績達成、目標未達成△=目標達成まであと少し

代表者による全体の評価と見直し

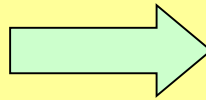
引き続き、今期も各種目標に向かって取り組みを行った結果が出た。ただ、どの項目も既にかかなり高い水準で努力を行っているため手詰まり感が否めない。今後は売上の拡大と環境配慮の両立を推進させ、環境先進企業になるべくより一層の企業努力を行っていききたい。

●環境への取り組みの紹介



2017.9 環境保全活動の一環として茨木市の「車作の森」へ竹林整備活動に参加してきました。

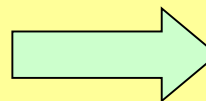
セラミックメタルハライドランプ(180W)



LED(96.5W)



2017.8 工場内のセラミックメタルハライドランプをLEDに全て切り替えております。
これにより照度は同程度を確保したまま消費電力を半分程度に抑えました。



小さくなった無垢材やベニヤの端材は厚みを合わせてランバーコアや合板としてできるだけ再利用しております。



ゴミ分別を推進する過程で出たペットボトルのキャップ及び缶飲料のプルタブを回収し、再資源化する活動に参加しております。再資源化で得られた利益は世界の子供たちにワクチンを送るために利用されます。



2017.1.28~31 担当者が「森林体感エコツアー ～フェアウッドの森への誘い～」(宮崎県諸塚村) に参加しました。



2017.9 消火訓練の実施状況です。全員が参加出来ました。



2017.9 おおさか環境賞受賞
大阪府内で長年緑化活動に取り込んできた功績が認められ、大阪府から表彰されました。